

外国人技能実習生の受け入れ状況は

平成29年度末で942人、年々増加の傾向



岡本 禎稔
自民クラブ

本市の農業における外国人技能実習生の活用について

- 問** 外国人技能実習生の受け入れ状況は。
- 答** 推計値で、平成25年度末が807人、平成29年度末が942人となっており、年々増加傾向にある。最も多い中国人の比率は、平成25年度末は80%であったが、平成29年度末は45%に減少している。
- 問** 平成29年11月1日に新しい法律が施行され、外国人の技能実習の最長期間が3年間から5年間になった。受け入れ農家のメリットとデメリットは。
- 答** メリットは経験を積んだ技能実習生に継続して実習してもらえること。デメリットは特にない。
- 問** 外国人技能実習生への日常生活におけるサポートは。
- 答** 外国語表記の生活ガイドブックやごみカレンダーの提供、ごみの分別や防災などの講座への講師派遣などを行っている。

- 問** 困り事などの相談窓口は。
- 答** 市からたはら国際交流協会に委託し、外国人向けの相談窓口を開設している。
- 問** 愛知県が国家戦略特区の認定を受けた「農業支援外国人受入事業」が始まったが、市の対応は。
- 答** 動き始めたばかりなので、状況を注視している。農業技能実習生をはじめとする農業人材確保のため、外国人が不自由なく暮らせるよう関係部署で連携して対応していく。



心豊かな平和田原市を

前向きに検討していく

核兵器廃絶と恒久平和を目指し
「田原市非核・平和宣言」を！



河邊 正男
日本共産党田原市議団

- 問** 核兵器廃絶と恒久平和を目指す「田原市非核・平和宣言」をするべきではないか。
- 答** 「非核・平和宣言」について前向きに検討していく。何かの節目の時にと考えている。
- 問** 渥美半島戦争遺跡を後世に伝えるため、戦争遺跡資料館をつくるべきではないか。
- 答** 既存の施設を活用し、戦争遺跡だけでなく、近代の田原市の歴史も後世に伝えていく形を検討している。場所は渥美地域も含め、総合的に検討していきたい。
- 問** 市主催の戦没者追悼式を平和祈念式典として発展させるべきではないか。
- 答** 今年度の式典では、遺族に限らず、一般市民の方などにも献花していただいた。より多くの方が参加できる式典となるよう、今後も開催方法を検討していく。